

刊行にあたって

近年、我が国においては少子高齢化が急速に進行し、特に少子化の波は大学に予想以上のスピードで押し寄せてきている。ここ数年来、短期大学の定員割れが発生し、4年制大学への転換が行われ、それに伴って、大学進学率のわずかな増加は見られるものの、大学入学定員と志願者の数がほぼ均衡するという、いわゆる大学全入時代が目前に迫っている。特に、地方の4年制の私立大学においては学部・学科の新設・改組や名称変更等の自助努力にもかかわらず、定員割れを起こす学部・学科も現れてきている。このような志願者の減少は私立大学のみならず、本学をはじめとする地方の国立大学において顕著に見られるようになってきた。そのため、地方国立大学は志願者の確保のため、それぞれの学部・学科等の特色を受験生に向かってアピールする必要に迫られている。特に、平成16年の法人化以降、各国立大学法人はアドミッションセンター等の新設により入試関連業務を強化し、それぞれの大学の特徴や魅力をホームページやオープンキャンパス、出張講義等の高大連携事業を通じて広く社会や受験生に広報している。本学においても入試広報を充実すると共に、入試方法の改善等を図るために平成19年10月にアドミッションセンターが新設された。本センターでは受験生確保のための入試広報はもちろん、入試方法の改善等を目的とした受験生へのアンケート調査や高等学校の進路指導教諭へのヒアリング調査に基づく受験生の動向調査と分析、ジョイントセミナーの改善等、高大連携の充実等を図るために活動してきた。この高校訪問によるヒアリング調査は本学に受験生を多く輩出している佐賀、福岡、長崎、熊本、大分、鹿児島県の100高校前後について6-7月と11-12月に定期的に行っており、国立大学法人の活動としては特筆される。平成21年1月センター専任教員として西郡大准教授を迎えてからは、受験生の動向のみならず、推薦入試や一般入試等の試験方法と入学者の成績との相関分析等、入試方法等の改善に直結した調査、分析を充実させてきた。本報告書は平成21年度におけるこれらの調査、分析結果等を中心としてアドミッションセンターの活動について纏めたものである。本報告のデータや分析結果等を各学部の入試方法等の改善に利用していただければ幸いである。この報告書は本センターとして初めてのものであり、内容等についてはまだまだ改善の余地が多くあると思われる。今後、本報告書を定期的に刊行して行く予定であるので、本報告書に関する忌憚のないご意見をいただきたい。

最後に、アンケート調査等にご協力いただいた学務部等関係部局の皆様には深く感謝申し上げます。

佐賀大学アドミッションセンター長 藤田 修二

【目次】

1.	志願者動向に関する分析	8
1.1.	都道府県別にみる本学への志願状況	8
1.2.	都道府県別にみる「受験率」(受験者数÷志願者数)	10
1.3.	都道府県別にみる「合格率」(受験者数÷合格者数)	11
1.4.	都道府県別にみる「入学率」(合格者数÷入学者数)	12
1.5.	入試方法別からみた志願状況および合格者の内訳	13
1.6.	学部別でみた志願状況	17
1.7.	学部別でみた併願大学(国公立大学のみ)	19
1.8.	まとめ	25
2.	入試広報等に関する新入生アンケートの分析結果	26
2.1.	はじめに	26
2.2.	調査方法	26
2.3.	学部別にみた回答者の属性(性別と現浪)	27
2.4.	学部別にみた佐賀大学の志望順位	27
2.5.	入試方法別にみた佐賀大学の志望順位	27
2.6.	佐賀大学が第二志望以下であった入学者の第一志望の大学および学部	28
2.7.	新入生の出身地域	31
2.8.	実家からの通学者	31
2.9.	入試方法別にみる受験決定時期	32
2.10.	学部別にみる受験決定時期	33
2.11.	出身地域別にみる受験決定時期	34
2.12.	入学前に佐賀大学について知っていたもの(複数回答可)	35
2.13.	佐賀大学を受験する上で関心を寄せた情報源(複数回答可)	35
2.14.	佐賀大学を受験したことに影響を与えたもの(複数回答可)	35
2.15.	受験に影響を与えた要因(学部別)	36
2.15.1.	受験に影響を与えた要因ベスト5(学部別)	36
2.16.	受験に影響を与えた要因(入試方法別)	37
2.16.1.	受験に影響を与えた要因ベスト5(入試方法別)	37
2.17.	受験に影響を与えた要因(受験決定時期別)	38
2.17.1.	受験に影響を与えた要因ベスト5(受験決定時期別)	38
2.18.	佐賀大学へのオープンキャンパスの参加者	39
2.19.	佐賀大学へのオープンキャンパスへ参加した学年(複数回答可)	39
2.20.	佐賀大学のオープンキャンパスで参加した学部(複数選択可)	39
2.21.	佐賀大学のオープンキャンパス参加者に限定した分析	40
2.21.1.	佐賀大学を第一志望としている割合	40
2.21.2.	合格した入試方法の内訳(無回答, その他の入試方法を除く)	40
2.21.3.	入試方法別にみる参加のパターン(無回答, 高校卒業後の参加を除く)	40
2.21.4.	佐賀大学のオープンキャンパスへ参加した感想	41
2.21.5.	OC参加以前の志望意欲とOC参加の満足度の関係	41
2.21.6.	OC参加以前の志望意欲と志望強度の変化	41
2.21.7.	OC参加の満足度と志望強度の変化	41
2.22.	佐賀大学のオープンキャンパスに参加しなかった入学者に限定した分析	42
2.22.1.	佐賀大学と他大学のOC参加の内訳	42
2.22.2.	印象に残った他大学のOCトップ10[自由記述](全自由記述数:404)	42
2.22.3.	どの大学のOCにも不参加だった入学者の地域別内訳	42
2.23.	入学時の心理状況に関する分析	43
2.23.1.	入学したばかりの気持ち(3つまで選択可能)	43
2.23.2.	入学したばかりの気持ち(学部別)	43
2.23.3.	入学したばかりの気持ち(入試方法別)	44

2.24.	アドミッションポリシーに関する分析	45
2.24.1.	全学的にみるアドミッションポリシーの認知度	45
2.24.2.	アドミッションポリシーの認知度（学部別）	45
2.24.3.	アドミッションポリシーの認知度（入試方法別）	46
2.25.	受験経験がもたらす成長に関する分析	47
2.25.1.	受験勉強や受験対策等の経験によって得られた成長有無（全体）	47
2.25.2.	受験勉強や受験対策等の経験によって得られた成長有無（学部別）	47
2.25.3.	受験勉強や受験対策等の経験によって得られた成長有無（入試方法別）	47
2.26.	取得した資格・免許（学部別）	48
2.27.	経済的側面からの分析	49
2.27.1.	奨学金貸与の予定（複数回答可）	49
2.27.2.	奨学金貸与の予定（学部別）	49
2.27.3.	授業料免除申請の予定	50
2.27.4.	授業料免除申請の予定（学部別）	50
2.27.5.	保護者（主な家計支持者）の所得に対する認識	50
2.28.	佐賀大学に入学したばかりの気持ちとして、大学に求める必要な対応や情報	51
2.29.	佐賀大学に対するイメージ（自由記述の分析）	54
3.	佐賀大学オープンキャンパス参加者アンケートに関する分析結果	61
3.1.	はじめに	61
3.2.	アンケート回収率（概算）	62
3.3.	回答者の性別と学年	62
3.4.	回答者の参加学部	62
3.5.	回答者の参加地域	63
3.6.	誰とオープンキャンパスに参加しているのか	63
3.7.	オープンキャンパスの参加目的（3つまで選択可能）	64
3.8.	佐賀大学のオープンキャンパスを知ったきっかけ	64
3.9.	「九州地区国立大学進学説明会」への参加状況	64
3.10.	本学オープンキャンパスへ参加した感想	65
3.11.	佐賀大学の情報誌に関して見たことがあるもの	65
3.12.	他大学へのオープンキャンパスの参加状況	66
3.13.	興味があった企画，企画してほしいもの [学部別]	66
3.14.	佐賀大学に対して持った印象（イメージ）の自由記述分析	73
3.15.	佐賀大学に対して持った印象[代表的意見]	74
4.	高校訪問におけるヒアリング調査	78
4.1.	はじめに	78
4.2.	2009年度の高校訪問で得られた情報（夏訪問）	80
4.2.1.	三者面談について	80
4.2.2.	オープンキャンパスに関して	81
4.2.3.	昨今の経済状況および志願動向への影響に関して	83
4.2.4.	（受験関連企業が主催する）進学説明会に関して	84
4.2.5.	出張講義に関して	85
4.3.	2009年度の高校訪問で得られた情報（秋訪問）	86
4.3.1.	推薦入試に関して	86
4.3.2.	平成22年度一般入試に対する生徒たちの様子	88
4.3.3.	高大連携に関して	89
4.3.4.	本学に対する具体的意見および要望	91
5.	入学者の追跡調査：入学後成績を中心にした分析	93
5.1.	はじめに	93
5.2.	データの解釈について	94
5.3.	入試区分別にみた入学後成績	95
5.3.1.	文化教育学部（学校教育課程：教育学・教育心理学選修）	95
5.3.2.	文化教育学部（学校教育課程：障害児教育選修）	96
5.3.3.	文化教育学部（学校教育課程：教科教育選修）	97

5.3.4.	文化教育学部（学校教育課程：理科選修）	98
5.3.5.	文化教育学部（学校教育課程：数学選修）	99
5.3.6.	文化教育学部（学校教育課程：音楽選修）	100
5.3.7.	文化教育学部（国際文化課程）	101
5.3.8.	文化教育学部（人間環境課程）	102
5.3.9.	文化教育学部（美術・工芸課程）	103
5.3.10.	経済学部（経済システム課程）	104
5.3.11.	経済学部（経営・法律課程）	105
5.3.12.	理工学部（数理科学科）	106
5.3.13.	理工学部（物理科学科）	107
5.3.14.	理工学部（知能情報システム学科）	108
5.3.15.	理工学部（機能物質化学科）	109
5.3.16.	理工学部（機械システム工学科）	110
5.3.17.	理工学部（電気電子工学科）	111
5.3.18.	理工学部（都市工学科）	112
5.3.19.	農学部（応用生物科学科）	113
5.3.20.	農学部（生物環境科学科）	114
5.3.21.	農学部（生命機能科学科）	115
5.3.22.	医学部（医学科）	116
5.3.23.	医学部（看護学科）	117
6.	入学者における受験科目および成績に関する分析	118
6.1.	学部別にみるセンター試験での受験科目	118
6.2.	学部別にみるセンター試験での受験科目（データ）	118
6.2.1.	文化教育学部	119
6.2.2.	経済学部	119
6.2.3.	医学部医学科	120
6.2.4.	医学部看護学科	120
6.2.5.	理工学部	121
6.2.6.	農学部	121
6.3.	学部別にみるセンター試験主要教科の得点分布	122
6.3.1.	箱ひげ図の読み方	123
6.3.2.	国語（2006年）における学部別の分布	124
6.3.3.	国語（2007年）における学部別の分布	125
6.3.4.	国語（2008年）における学部別の分布	126
6.3.5.	国語（2009年）における学部別の分布	127
6.3.6.	英語（2006年）における学部別の分布	128
6.3.7.	英語（2007年）における学部別の分布	129
6.3.8.	英語（2008年）における学部別の分布	130
6.3.9.	英語（2009年）における学部別の分布	131
6.3.10.	リスニング（2006年）における学部別の分布	132
6.3.11.	リスニング（2007年）における学部別の分布	133
6.3.12.	リスニング（2008年）における学部別の分布	134
6.3.13.	リスニング（2009年）における学部別の分布	135
6.3.14.	数学Ⅰ・A（2006年）における学部別の分布	136
6.3.15.	数学Ⅰ・A（2007年）における学部別の分布	137
6.3.16.	数学Ⅰ・A（2008年）における学部別の分布	138
6.3.17.	数学Ⅰ・A（2009年）における学部別の分布	139
6.3.18.	数学Ⅱ・B（2006年）における学部別の分布	140
6.3.19.	数学Ⅱ・B（2007年）における学部別の分布	141
6.3.20.	数学Ⅱ・B（2008年）における学部別の分布	142
6.3.21.	数学Ⅱ・B（2009年）における学部別の分布	143